

12時間目「オーガニック(有機)商品って？」

エシカル消費

人・社会への配慮

誰かのために

社会のために

地域への配慮

地元のために

どこかのために

環境への配慮

地球のために

・フェアトレード商品

・からだを思いやる商品

・寄付付き商品

・障がい者が作った商品

・地産地消

・地元での買い物

・被災地への応援消費

・伝統工芸

・リサイクル(エコマーク付き)商品

・食品ロス削減

・オーガニック(有機)商品など

平成三十年十二月

当番
小高 磯 畑

皆さんは、特に手間ひまを掛けているものはありますか？子どもの教育や煮込みもの、スキンケアなど…いろいろありますよね。私は、この時期、クリスマスの準備に手間ひまを惜しみません♥

ところで、皆さんは、どうして農作物を作るのに、化学肥料や農薬が使われるのかを知っていますか？

化学肥料は、安く手に入り、においもなく、農作物に効率よく栄養を与えることができます。また、農薬を使うことで、雑草や害虫から守り、安定して農作物をたくさん生産することができますからです。

でも、過剰に化学肥料や農薬が使われると…水や土、大気などの自然環境に影響を及ぼしてしまいます。

今回の授業で皆さんに知ってもらいたいことは、自然環境を大切に思う農業がある、ということです。

『オーガニック(有機)商品』とは、化学肥料・農薬・遺伝子組換え技術を避け、有機肥料(動物の糞や植物)や天然由来の防虫剤を用いた、有機栽培により育てられた農作物などをいいます。

日本では、農林水産省が定める『有機JAS』(右図)という規格があり、植え付け前の土壌で2～3年前から原則として化学肥料や農薬が使われていないなど、様々な基準をクリアしたものに、有機JASマークが付けられています。



有機栽培は、土壌が本来持っている力を発揮させ、環境への負荷を減らすとともに、農薬を使う人などのからだを思いやる農業ですが…、化学肥料に比べて高価でにおいも出るし、農薬を使わないので雑草や害虫対策に、どうしてもより多くの手間ひまがかかってしまいます。なので、他の農作物に比べて値段が高くなったりもしますが、それは自然環境やからだを思うと、必要なコストとも考えられますね。

買い物をする際、オーガニック(有機)商品を選んでみましょう。そして、私たちの住んでいる地球や誰かのからだへ、**ちょっぴり幸せを贈って**みませんか？

来月から少しの間、補習とします。これまでお知らせしてきたもの以外に、他にどのようなエシカル消費があるのかを掲載しますので、ぜひご覧ください。

板野町は、エシカル消費を推進しています。

お問い合わせ 役場産業課 ☎672-5994

【ひとくちメモ】

※日本では「有機JASマーク」がなければ、「オーガニック〇〇」や「有機〇〇」などと表示することができません。

※肥料や農薬を一切使わない「自然栽培」などもあります。

板野町の取り組み

12月16日(日)、町民センターにて、ふるさと味づくり研究会と共催で行っている『いもどり親子クッキング教室～米粉のクリスマスケーキ作り～』を開催します。今年は、自然に配慮した果物(ブルーベリー・キウイ)などを使う予定です。

召し上がれ！



昨年のクッキング教室→



ある日の先生

ツリーに飾り付けしてケーキも早く予約してプレゼントを選んでぱっちりおしゃべりしてデートの行き先決めてそれか…ら…

むにやむにや
zzz



『エシカル消費』とは、人・社会・地域・環境などに配慮した商品を選択することです。